

立教池袋 運動部通信

第87号

2021. 2. 26

～2020年度の10大(重大)ニュース～

「運動部通信」では毎年、この時期に今年度の各部の10大(重大)ニュースを発表しています。しかし今年度は多くの試合・大会が中止となってしまう、戦績を残すことが難しい一年でした。それでも、先輩方が何とか残してくれた結果もありましたので、今回はそのようなニュースを中心に載せています。早くこの事態が収束し、来年度のこのニュース号が各部からの戦績で溢れる号になることを願っています。



ゴルフ部

～2020年度 重大ニュース～

(高校)

1. 東京都高等学校ゴルフ選手権・特別大会(個人の部)で高3森山・高2昌山・高1阿出川が予選を突破し関東大会に出場。
2. 東京都高等学校ゴルフ選手権・特別大会(団体の部)で高3森山・高3井上・高2昌山が第5位で関東大会に出場。
3. 東京都高等学校ゴルフ選手権・秋季大会(個人の部)で高2昌山・高2星野・高1阿出川が予選を突破し関東大会に出場。
4. 高1星野は上記関東大会でも予選を突破し全国大会に出場権獲得(3月兵庫県)

(中学)

5. 関東中学校ゴルフ選手権・特別大会(団体の部)で中3榎本・中3諏訪・中2中山が準優勝!13年連続の全国大会出場を決める!
6. 全国中学校ゴルフ選手権・特別大会(団体の部)で中3榎本・中3諏訪・中2中山は堂々の準優勝!史上初、初日首位の快挙で顧問を慌てさせる!
7. この大会、中3榎本は初日全参加者中の最小ストローク。
8. コロナ禍で多くの大会・研修会が中止!
9. マイクロバス使用制限で外部練習出来ず!
10. 合宿や遠征・送別試合が実施見合わせに!

陸上競技部 2020 年度（重）大ニュース

1 高2 川嶋 都新人大会優勝、関東選抜新人8位入賞

高2 川嶋康駿が800mで1分56秒70のタイムで都新人大会優勝を果たした。この大会では、400mにも出場して6位入賞。5本目のレースとなった800m決勝では、持ち前の勝負強さを存分に発揮させての優勝であった。関東選抜新人では決勝で8位に終わったが、来年度の全国大会に向け、積極的なレースに挑戦した。



2 高2 島村 都新人大会3位入賞、関東選抜新人出場

高2 島村涼太が棒高跳で4m10の記録で都新人大会3位入賞、関東選抜新人への進出を決めた。絶好調で挑んだ関東選抜新人では、ポールが合わず、結果を残すことができなかった。練習では自己ベストを大きく超える跳躍をしているだけに、この経験を活かして来年度の飛躍を期待したい。

3 中2 林 支部対抗選手権大会 6位入賞

秋に開催の中学生の都大会である支部対抗選手権に中2 林京乃佑が走幅跳に出場し、5m78の記録で6位入賞を果たした。持ち前のパワーとバネを活かし、予選を通過すると、決勝では勝負強さを発揮してベストを更新。6mの大台には届かなかったが、期待の膨らむビッグジャンプを見せてくれた。

4 中1 見城 豊島区大会優勝、支部対抗選手権大会出場

支部対抗選手権大会への出場権がかかる、秋の豊島区大会で中1 見城裕隆は1500mに出場し、5分06秒45の記録で優勝した。支部対抗選手権大会では、力及ばず決勝進出とはならなかったが、来年度以降の活躍が楽しみな積極的なレースを展開してくれた。

☆ 本年度はインターハイ、全国中学総体をはじめ、主要大会の多くが中止となってしまいました。その中でも選手たちは、開催される大会に向けて努力を続け、上記の成績を収めることができました。活動に際しまして多くのご声援、ご協力を頂き、本当にありがとうございました。来年度は主要大会が例年通り開催されることを祈って、全力で練習に励みます。

山岳スキー部 今年度の重大 NEWS



- ・ 中学 1月都大会で 中3 濱野、鈴木が SL・GS で全国大会出場！
しかし、残念ながら全国大会は開催されませんでした。
- ・ 高校 1月都大会で 高2 眞崎が GS で全国大会出場！

心技体揃った強い選手・強い人間を育成するべく、日々、努力を積み重ねています。



中高剣道部 2020年度重大ニュース！

新顧問・益田先生登場!!

昨年度まで顧問を務められていた佐々木峻輔先生が尚美学園大学剣道部監督に就任、それにともない新しく益田一輝先生を新顧問にお迎えした。就任前まで大学剣道部の選手として活躍、現在もご自身の大会や稽古に励んでいるという現役バリバリ。熱い指導が展開されている。

2020年度の全大会中止!!

1年間で中高合わせて25~30の大会があるが、その全てが中止となった。他競技と比較したときの剣道の特性上、やむを得ないとは言え残念以外の何ものでもない。来年度は絶対に試合をしたいところだ。

みんなで剣道に取り組む幸せ!!

大会は残念ではあるし、途切れ途切れではあるが稽古は続けている。夏休み以前は半分ずつで、夏休み以降は全員が集まって稽古ができるようになった。その際に感じたのは「みんなが集まって剣道ができることは、本当に幸せなことなんだ」ということ。この気持ちを大切に、これからも剣の道を歩んでいきたい。

中学卓球 10大ニュース

- 新入部員17人、全体で50人。目指すは団体で都大会ベスト8。
- 7月、部活再開も私学大会は中止。秋の大会(新人戦)があることを願って練習に打ち込む。
- 8月、立教カップ、高校生相手に決勝トーナメントに3年生多数勝ち残る！来年を楽しみ。
- 9月、新チーム始動。
- 11月、新人戦は限られた選手のみ出場するも厳しい戦いだった。団体、都大会へ行けず…。
- 全体を通して、この状況下での練習は厳しく、また大会は軒並み中止になってしまった。それでも3年生は高校での活躍に向けてのモチベーションで中期以降は高校の練習に積極的な参加が見られて良かった。2年生は公式戦が行われたが満足のいく結果ではなかった。来年は豊島区の優勝トロフィーを取り戻そう！1年生はまず試合での1勝を目指して練習あるのみ。できる範囲でやれることを探して頑張ってもらいたい。



中学庭球部

☆☆2020年度の重大ニュース☆☆

- 一、2019年度関東新人団体3位を経て出場権を獲得するも中止を余儀なくされた全国選抜大会！
- 一、2020年度唯一開催の公式戦である都新人団体戦で上位シードを破って獲得した第3位入賞！
- 一、上記戦績により2大会連続出場を果たした2020年度関東新人団体戦！
- 一、マスク着用、活動時間短縮、部室不使用等の制限下でも意欲的に取り組む部員たちの姿！
- 一、元気の良さや協力の心で練習に励み、力をつけランキング戦で勝ち上がる18名の1年部員！

※来年度も今出来ることに目を向けて全力で取り組みます！！



中学バスケット部 重大ニュース

1. コロナ禍での3年生引退試合実施

～3年生らしいチームワークとスピード、DFが光る試合で勝利!!～
プレー中の笑顔が印象的な試合でした。3年生、お疲れさまでした。

2. コロナでなくなる大会の数々…

～春季・夏季大会、夏の私立大会、1年生親睦大会、新入都大会…～
大会がなくなるたび、目標を失いかけてきましたが、その都度前を向いて頑張った!!

3. 豊島区大会優勝、都大会出場権獲得!!

～現高校2年生以来の優勝も、都大会が緊急事態宣言発出により延期、そして中止～
～先輩たちの悲願であった豊島区優勝。チーム一丸となり、実力以上の試合運びで圧倒。
都大会も強豪相手にどこまでできるか、夏に向けて楽しみであったが…

4. 3学年60名の一大勢力に

～3年生12名、2年生20名、1年生28名。存在感が大きいからこそ、しっかりした学校生活を～

番外編 最上先生、ご結婚!!

～市橋先生が結婚への道筋をつけたとか、つけないとか…とにかくおめでとうございます!!～

次年度も St. Paul's を背負い、頑張ります。皆様の応援よろしく願いいたします。

中学サッカー部の2020年度 重大ニュース

1. 2020年度 夏季大会の代替大会で学習院中学校と対戦。

～少ない練習時間のなか、チーム一丸となって戦い、完璧な崩しから2点を取る。～

2. 3年生が首都圏チャンピオンシップ大会予選で城北中学校と対戦。

～3年生主体で挑み善戦したが、新人戦のリベンジは果たせず…悔しさを力に!～

3. チームの主となる2年生から3役(榎田、神藤、町田、中島)が決定

～全員が一つになった時の力は凄い。己に厳しく、仲間に厳しくなれるか。～

4. 新チームが豊島区準優勝。秋季大会第四支部大会に出場

～都大会まであと一歩。夏に向けての課題が見つかる。～

5. 1年生の新人部員が13人。

～ポテンシャルがある学年。「部活」と「クラス」の区別をつけたい。～

新型コロナウイルスの影響で、部活動や大会に大きな影響が出た一年であった。

3年生はこの悔しさを高校で力に変えて、1・2年生は次の大会に向けて、それぞれに与えられた場で、真摯に取り組んでもらいたい。

1, コロナ禍でも3年生が活躍!

春季・夏季の2大会が中止となりましたが、多くの方々のご尽力により8月に3年生の大会を3つ実施することができました。

- ・豊島区3年生特別大会(8/17, 18)
⇒ 優勝! しかも、3年生19名全員が出場しての価値ある優勝でした!
- ・下町杯中学生野球大会(8/19, 20, 21)
⇒ 3日間で6試合! 6試合すべてがナイスゲーム。感動した!
- ・3年生引退試合(8/25, 奥戸球場にて明治大学中野中学校と対戦)
⇒ 2試合ともに完勝! 秋の都大会で負けていた相手。お互いに最後の試合を爽やかに、真剣に戦いました。

「切れかけた気持ちを皆で繋いで、最後まで本当に良く頑張ってくれました。保護者も一緒に戦い、引退を見届けてくださいました。心より感謝いたします。」

2, 1, 2年生チームも頑張っています!

コロナ禍で1年生は入部の遅れ、2年生は練習量の不足が懸念されましたが、日に日に成長を実感でき、可能性を大いに感じるチームになってきました。秋季大会は都大会決めの一戦で敗退しましたが、そこから年末までの成長、頑張りは予想以上でした。夏にはどんなチームになっているのか楽しみです。

3, ZoomとLINEを活用!

コロナ禍で新しい試みをしました。不安もありましたが、便利であり選手との接点が増えたことはチームとしてプラスになりました。時代の変化に順応する必要性を再確認しました。

- ・Zoom
自粛中に皆でトレーニングや個別指導を行いました。また、父母会や送別会も行いました。
- ・LINE
現役選手と顧問のみでグループを作りました。諸連絡をしたり、選手が練習動画を送り、顧問がコメントでアドバイスをしています。今後も有効活用していきたいです。

高校バスケット部 ★重大ニュース★



< 大会の結果より >

▼ Tokyo Thanks Match (インターハイ予選代替大会)
都ベスト16決めで國學院久我山に敗れ、ベスト32!

春の関東予選、夏のインターハイ予選が共に中止となり、その代替大会として秋にこの大会が行われた。3年生は3名が参加し、今年度初の大会を3学年揃ってのチームで最後まで戦うことができたことは、今後も皆の記憶に残ることだろう。

▼ 秋季新人戦 ～新人戦第4支部大会～
昨年度に続き、今年度も本大会出場権を得る!!

毎年行われる大会の中で、今年度唯一行われたこの新人戦支部大会。昨年、15年(くらい)ぶりに念願の本大会出場を果たしたが、今年度も見事、支部ベスト8に残り、本大会出場を決めた。本大会は中止となってしまったが、2年連続ベスト8の戦績は、力をつけ、強いチームになってきた証と言えるだろう。

▼ キャプテン稲垣 支部選抜に!
昨年の高柳に続き、第4支部選抜選手に選ばれる

高2キャプテンの稲垣君が、第4支部の選抜選手に選ばれた。残念ながら支部選抜大会は中止となってしまったが、その力が認められたことは素晴らしく、来年度の更なる活躍に期待したい。

< チーム近況 >

◆ 新チーム・新体制

キャプテン: 稲垣 / 副キャプテン: 川本・南 / マネージャー: 高島
コーチ・副顧問: 最上 / 顧問: 広瀬

1年生5名、2年生9名、中3は…たくさん入ってくれる予定

最後に…最上先生、ご結婚おめでとうございますv

高校サッカー部

今年度の重大ニュース



- ① 今年度赴任した神宮寺先生が非常勤顧問として練習に参加し、部員とガチンコにサッカーをしている。
- ② 神宮寺先生の大学の友人(杉山様)がキーパーコーチとして週末に練習に参加する。
- ③ コロナの影響で練習時間が制限されたが、その分集中して練習に取り組めた。
- ④ 新人戦で宿敵、文京高校に3度目の正直でリベンジできた。
- ⑤ 新キャプテンのもと元気良く明るく練習に取り組んでいる。
- ⑥ 早くコロナが落ち着き、練習再開の日が来ることを部員一同願っている。

高校卓球部 2020年度 重大ニュース!!

1. 高校1年生が12人入部 総勢31人
今年度は高校からの生徒も多く入部してくれました。新しい風と共に1年生の活躍を期待しています。
2. 第6回立教杯開催
立教池袋中学校・高等学校No. 1決定戦であるトーナメントを夏休みに開催し、高2小田圭将が見事に優勝を飾りました。中学3年生の活躍も多く目立ちましたが、緊張感のある雰囲気の中で素晴らしい試合が数多くみられました。
3. 中学3年生の練習参加
夏休み以降、中学3年生が7人練習に参加してくれています。やる気に満ち溢れた生徒の参加も、高校生に良い刺激となっています。意識の高い3年生に押し負けないように高校生も頑張ってもらいたい。
4. 新人卓球大会5回戦(以降の試合はコロナの影響で中止)
小田、福元が勝ち上がったが2月に行われる予定の試合は中止…。別の3月の大会へ向けてモチベーションを保ちつつ頑張ってもらいたい。





1. 2度の長期活動停止

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言により2度の長期活動停止となりました。

その間、3年生にとって最後の大会となる夏の大会、新チームの初の公式戦となる秋季大会はなんとか行われましたが、通常とは全く異なる環境で部員たちも戸惑うことも多かったように思います。

普通に野球ができること日が、一日でも早く戻ってくることを願わずにはられません。また、普通に野球ができることがどんなに幸せなことかを噛みしめながら、これから精進していきたいと思います。

2. 2年連続秋季本大会出場

まずはコロナ禍で様々な制約がある中、大会が行われたことに感謝したいと思います。

1次予選を勝ち上がり、昨年に引き続き本大会出場となりました。残念ながら本大会では強豪校相手に初戦敗退となりましたが、この本大会出場により、春は1次予選が免除され、本大会から出場できるようになります。練習再開はまだ先になるかと思いますが、再開された暁には、言い訳することなくしっかりと準備をし、大会に臨みたいと思います。

高校庭球部 10大ニュース 高校庭球部



- 1 都私立中高テニス選手権大会(団体)Aチームベスト16
- 2 植松希大(高1) 都高校新人戦(個) S本選進出
- 3 都高校新人戦(個)で学校ポイント獲得
(合計 23 point ; 植松=15 point、柳澤=8 point)
- 4 都高校新人戦(個) D柳澤(高2)・松岡(高2) 本選進出
- 5 高三17名 最後の公式戦(秋の私学団体戦をもって引退)
- 6 高一新入部員10名が入部(うち2名は高校から入学)
- 7 都高校個人戦/都高校団体戦(インターハイ予選)が中止
- 8 2021年度春合宿が中止
- 9 菊地裕太選手(2017年度インハイ3冠)との合同練習会を実施
- 10 新高校一年□名が入部予定【13~14名の予定!】

自分たちの手の届かないところから押し寄せる大きな波に翻弄され、思いがくすぶる一年間であった。日々の成果を発揮できる舞台が用意されているのが当たり前であると信じていたかもしれない。改めて感謝と努力を誓い、シーズン明けを見据えるのみ。(顧問)

次号は卒業特集です。
もう少しお待ちください。
(編集担当)